

内閣参甲第一三三号

昭和二十三年六月二十二日

内閣総理大臣 芦 田 均

参議院議長 松 平 恒 雄 殿

参議院議員田中利勝君提出化学肥料及び農薬の需給と價格に関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

昭和廿參年七月八日

參議院議員田中利勝君提出化学肥料及び農薬の需給と價格に関する質問に対する答弁書

一、本年度硫安生産計画遂行に必要な硫化鉍一三〇万吨生産の目標計画策定に當つては、商工省その他関係方面と十分連絡し、この計画遂行には幾多の困難が伴うと予想せられるが、官民共に万全の措置を講じて目標達成に努力することとなつたのである。

昨年十一月に「昭和二十三年一月乃至七月の期間に於ける肥料割当計画」を決定(二三、一一、二一閣議報告)以來特に硫化鉍の増産が痛感せられ、「昭和二十三年度重要物資需給に関する暫定計画に関する件」(二三、一一、一〇閣議報告)において硫安九〇万吨、硫化鉍一三〇万吨の本年度生産計画が樹立せられ、更に本年三月二十六日「春肥供給確保緊急対策要領」(閣議決定)において四―七月間の生産計画を四二二、〇〇〇吨と定め、この目標達成に努力することとした次第である。

二、硫化鉍の現行價格に付ては現在鉍山によつて、鉍名の品位生産條件等による原價の開きが相当であるので、個別價格と群別價格を併用する三本建價格へ第一種柵原鉍山、第二種松尾鉍山、第三種その他鉍山

を採用している。これは硫化鉍増産の確保と低物價政策との調和を計る爲と、山を得る措置と考へる。

現行價格が不当に低位に決定されたということはない。

柵原鉍山に付て二十二年度第三四半期の実績を見ても指摘の如き大きな赤字は出ていない。ただ最近の情勢においては物價改訂のずれ、一般物價の昂騰等によつて一部採算制を來していることは事實である。

今回改訂しようとする價格においては價格の建方は現行價格と大差はないが、過去の実績原價を基礎とし、これに新價格体系の値上り倍率をこれに織込み、更に個別價格を採用せんとする柵原及松尾については、生産鼓舞する爲特に相当程度の利潤を織込む等充分生産対策に即應した價格を決定するつもりである。

三、硫化鉍山に対する資金、資材の割当に當つては、硫化鉍が肥料生産に欠くべからざる原料である点に鑑み肥料工業と同順位の重要性のあるものとして極力所要資金、資材の割当を行うよう考慮してい

る。

四、硫化鉍の輸送上の制約によつて、硫化鉍の生産計画に支障が來すことのないよう、石炭に準じて極力輸送力確保に努力している。

本年度の重要物資の輸送計画においては、硫化鉍一三〇万噸の輸送を実施しうるよう計画しているが、東北地方の輸送力不足の実狀に鑑み特に硫化鉍の優先輸送の対策を講じつつあり、目下の所輸送難のため生産が低下することはないと考えている。

五、亞硫酸の二十三年度生産計画は二一九〇噸であり、現在一ヶ月の生産量は約一一〇噸で計画に及ばないが、今次の物價改訂が適正な價格に落着けば予定の生産は可能と考えている。なお不足分に付ては亞硫酸並びに原鉍石の輸入を考慮し、一方國內資源の開発増産を計画している。一面亞硫酸の主要な需要先である農藥については、砒酸鉛がより有効なDDTに置換えられる傾向があり、既に一部これが輸入を見ている次第であるから、亞硫酸の需給關係は漸次好轉するものと思われる。

六、亞砒酸の輸入については昨年十一月G H Qに懇請したが米國の國內事情により拒否された。しかし前記の農劑としてDDTの輸入申請は受理され、その半量は既に輸入された。なおこれに付て不足を生ずる場合は國內生産のDDT劑でまかなう積りである。